

## 本時のねらい

・ちよどにわけられないわり算について調べる。

## 本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

Google Jamboard を活用し、タブレットに送られた具体物のイラストを袋に見立てた付箋上に動かし、わけた後にあまりがあるわり算があることに気づく。

## 活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・Google Classroom
- ・Google スライド
- ・Google Jamboard

## 本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (15分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Classroom で今日の予定の確認をする。</li> <li>・毎時間行っている九九の確認をスライドです。【写真 1】</li> <li>・既習のわり切れるわり算の課題について、Jamboard を使って復習する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予定を確認することで学習の見通しがもてる。</li> <li>・自分の確認したい九九をスライドでフラッシュカードのように表示することで、自分のペースで学習できる。</li> <li>・Jamboard で、具体物のイラストを動かすことで、同じ数ずつわけけることを、視覚的にとらえることができる。</li> </ul>
展開 (20分)	<p>めあて ちよどに分けられないわり算について考えよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・復習の時と同様に Jamboard を使って 1 3 個のめあてを 3 こずつに分けたり、4 こずつに分けたりする。【写真 2】</li> <li>・あまりがある時のわり算の式を立てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Jamboard 上でドーナツやめあてといった具体物のイラストを袋に見立てた付箋上に動かすことで、「わけける」「あまる」ということを視覚的にとらえることができる。</li> <li>・Jamboard でそれぞれが作成した友だちの考え方を確認することができる。</li> </ul>
まとめ (10分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あまりがあるわり算も、わる数の九九を使って答えを出すことができることを確認する。</li> <li>・Classroom にふりかえりを投稿する。【写真 3】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Classroom 内でふりかえりを共有することで、友だちの学びを交流することができる</li> </ul>

## 1 人 1 台端末を活用した活動の様子



【写真 1】スライドで九九を確認している場面



【写真 2】Jamboard でめあてを同じ数ずつ分けている場面



【写真 3】Classroom でふりかえりを書いている場面

## 児童生徒の反応や変容

- ・九九を覚えることが難しかった児童も、スライドを使って決まった時間内で毎回くり返し取り組むことで、自信がついてきた。
- ・同じ数ずつわけけるという表現からすぐに立式させるより、わけけるということを Jamboard 上で操作することにより、視覚的にわられる数、わる数、商、あまりが理解できた。
- ・Jamboard 上の友だちの考え方と、自分の考え方の共通性が認められることで、安心する様子が見られた。

## 授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・九九が苦手な児童には、スライドを作っておくことで、自分のペースでフラッシュカードのように学習ができ、文章問題などで九九が必要となったときにいつでも自分で必要な九九を確認することができる。
- ・文章表記だけで立式しようとすると混乱が起きたり、答えの単位に自信が持てなくなったりする児童には、Jamboard 上で図を動かし、視覚的な作業が加わることで考えを整理しやすくなる。